

糠内郵便局の集配廃止に 中止を求める行動を



問 仄聞するところによると、本年9月19日をもって本町の糠内郵便局の集配業務が廃止され、幕別郵便局に統合されると伺っているが、町の情報収集はどのような形で行っているのか。

休日実施していた小包・書留郵便の受け付けも実施されないようである。

政府は、「郵政民営化」によりサービスは低下させないとして法案を通したが、民営化が動き出したとたん地方切捨ての方向がはっきりとしてきたと思う。

集配局が廃止されれば、利用者にとって配達遅れなど、サービスの低下を招き、職員は広域を走り、労働強化にもつながる憂いがある。

また、地域の町づくりには郵便局員が果たしている役割は大きい。高齢者の方への声かけ、安否確認、災害時の道路などの情報提供など

ごがある。こうしたことが大きく後退することになると思うので、住民の安全とサービスを求めるため集配廃止の中止を行うべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長

全国的規模で進められている郵便局の再編等について、5月18日に関係する南幕別の9公

区長に対して、概要説明を行った。この問題は全国的規模であることから、十勝活性化推進期成会にて、十勝管内の関係市町村が一丸となって、郵便局機能の維持に向けた要望活動に取り組んでいる。

本町独自として、日本郵政公社に対し、糠内地区で住民説明会を開催す

るよう依頼し、関係する地域住民の皆さんに正確な情報を提供し、意見・要望等を直接聞き適切に対応できるよう要望した。

その結果、8月28日に説明会が開催されいろいろな要望等が出され、郵政公社としては、意見・要望等を重く受け止め、サービスの低下を招かないようにするとしたうえで、計画通り進めるということであった。

現在、糠内郵便局が行っている高齢者への声かけ・安否確認・災害時の情報提供などのサービスは継続す



集配業務が廃止された糠内郵便局

るとのことである。

糠内郵便局は、地域に根ざして郵便・貯金・保険などの分野で重要な役割を果たしており、集配郵便局の再編に当たり、その役割と

経緯を鑑み、地域住民の生活の安定と利便性を確保するため、現在の郵便局機能をこれまでと同様に維持するよう、機会を通じ、引き続き要望したい。

救命率向上のため公共施設に「AED」を配置すべきでは

問 わが国において、心疾患による年間死亡者数は年々増加し、病院外心停止の発生件数は年間2万人から3万人と言われている。

こうした中、心停止患者の救命率向上のために、厚生労働省が救急隊員の到着までの非医療従事者である一般の人にも自動体外式除細動機（AED）の使用を認める方針を決定した。

こうしたことから、AEDをなるべく多数配置するとともに、一人でも多くの住民がAEDに関する知識を有することが非常に重要だと思ふ。

町民の命を守る観点から、公共施設に計画的にAEDを設置すべきと考えるが町長の考えを伺う。

町長 本町では昨年度、匿名の方からの寄贈により、幕別地区の全小・中学校13校に配置し、本年9月には、忠類地区の小・中学校2校に町で購入し配置した。今後については、導入に当たった初年度経費や、バッテリーの交換などのランニングコストも生じることから、財政負担の面や普及度合いなどを見極め、計画的な適正配置を検討したい。

AEDの住民への周知や適切な対処法については、幕別消防署や日本赤十字社と連携し、一般住民の方を対象に使用方法等に関する講習会の開催などに努めたい。